

ご挨拶

謹 啓

このたび、第 40 回九州手外科研究会を担当いたします、長崎大学医学部形成外科の田中克己です。伝統ある本会を 2019 年 2 月 16 日 (土)に長崎市の長崎大学医学部の坂本キャンパスで開催させて頂くことになりました。謹んでご挨拶を申し上げます。

九州手外科研究会は昭和 55 年に福岡大学医学部整形外科学教室の高岸直人教授の会長の下に福岡市で第 1 回の研究会が開催されました。手の分野を専門とする医師が参集し、その知識や技術を高め合いながら、同時に後進の指導を行いながら手外科に関する医療の普及を行い、国民の健康増進に寄与してまいりました。今回で 40 回の節目となりました。形成外科として初めて担当させていただくと同時に、皆様を長崎にお迎えできることを大変光栄に存じております。

本研究会のテーマは『手をつなぐ、手外科を繋(つな)ぐ』としました。現在、手外科において整形外科や形成外科をはじめとした多くの分野の医師がその診断・治療に参画するとともにリハビリテーション、看護、さらには社会福祉にいたるまで広い分野でのつながりが必要となっています。また、先達からの教えを受け、それを発展させ、次の世代に継承することも私たちの責務であります。さらに新しい専門医制度に向けて地域における手外科医の連携もますます重要となってまいります。手外科の原点を見失わずに、理想の医療を追求することが必要と考えています。

今回の研究会におきましても、本研究会の特徴である十分な討論時間を確保できるように準備をいたします。演題登録は別紙のように e-mail による申し込みを行います。また、ランチョンセミナーならびにアフタヌーンセミナーは教育研修講演として日本整形外科学会ならびに日本手外科学会の単位申請を予定しております。

ちょうどこの時期は長崎市で中国の旧正月を祝う行事「春節祭」を起源とする長崎ラントンフェスティバルが開催中(2019 年 2 月 5 日～2 月 19 日)です。研究会とあわせて光のページェントもお楽しみいただければ幸いです。

多数の演題のご応募と多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹 白

平成 30 年 9 月吉日

第 40 回九州手外科研究会 会長
長崎大学医学部形成外科
教授 田中克己